

平成 27 年度 リーダーシップ教育研究のための教職員海外派遣・調査研修者の公募について

平成 27 年 6 月 18 日

グローバル女性リーダー育成研究機構長 猪崎弥生

グローバルリーダーシップ研究所長 塚田和美

グローバル女性リーダー育成のミッション遂行のためには、教育の改善・教育方法の開発が必須です。そこでこのたびグローバルリーダーシップ研究所では、海外の大学等で教職員が行う、リーダーシップ教育に関する調査や研修を支援することにいたしました。

つきましては、下記の要領で募集をいたしますので奮ってご応募ください。

なお、職階や年齢に制限は設けませんが、応募者多数の場合、若手教職員を優先します。

記

1. 目的：海外の大学等におけるリーダーシップ教育について、実地に調査・経験することによって、本学の教育改革に資する。

狭義のリーダーシップ教育の調査・研修だけでなく、アクティブ・ラーニング、PBL(Project Based Learning)、Transformative Learning など、イノベーティブな教育実践の研修やその調査、施設・IT・図書などのインフラ調査なども含む。

2. 派遣先：海外の大学や研究機関、研修プログラム実施機関、など

3. 派遣期間：20 日間程度以内

調査先のプログラムや活動によって、期間の伸縮は可能。ただし、平成 28 年 2 月までに研修を終えること。

4. 派遣者：お茶の水女子大学の常勤教職員（特任職員も含む）

5. 旅費・滞在費：本学の旅費規程により支給する。

研修費用については、個別に相談する。

6. 採択件数 5 件程度

7. 応募方法：7 月 21 日（火）15 時までに、別紙申請書にて応募すること。

出発までの期間が短い場合については、早期に審査して結果を通知する。

8. 提出先：大学本館 117 室(1 階) 企画戦略課(広報)男女共同参画推進担当 菊池 慶文 内線 5336

メールの場合、IGL-haken@cc.ocha.ac.jp

9. 選考方法：書類審査による。書類の内容について確認の面談をすることもありうる。

10. 帰国後の義務：

- ・帰国後に報告書を提出するとともに、FD・SD 研修会等で報告を行う。
- ・自らの教育実践や業務の中で調査・研修の成果を活かす。

【本件担当】

公募実施責任者：グローバルリーダーシップ研究所長 塚田 和美

連絡先（事務担当）：グローバルリーダーシップ研究所 小濱 聖子 特任 RF

E-mail：IGL-haken@cc.ocha.ac.jp

電話（内線）：グローバルリーダーシップ研究所 5520

*問い合わせは、グローバルリーダーシップ研究所事務担当までお願いいたします。